

茨城県神栖市における地下水モニタリング(冬季)の結果について

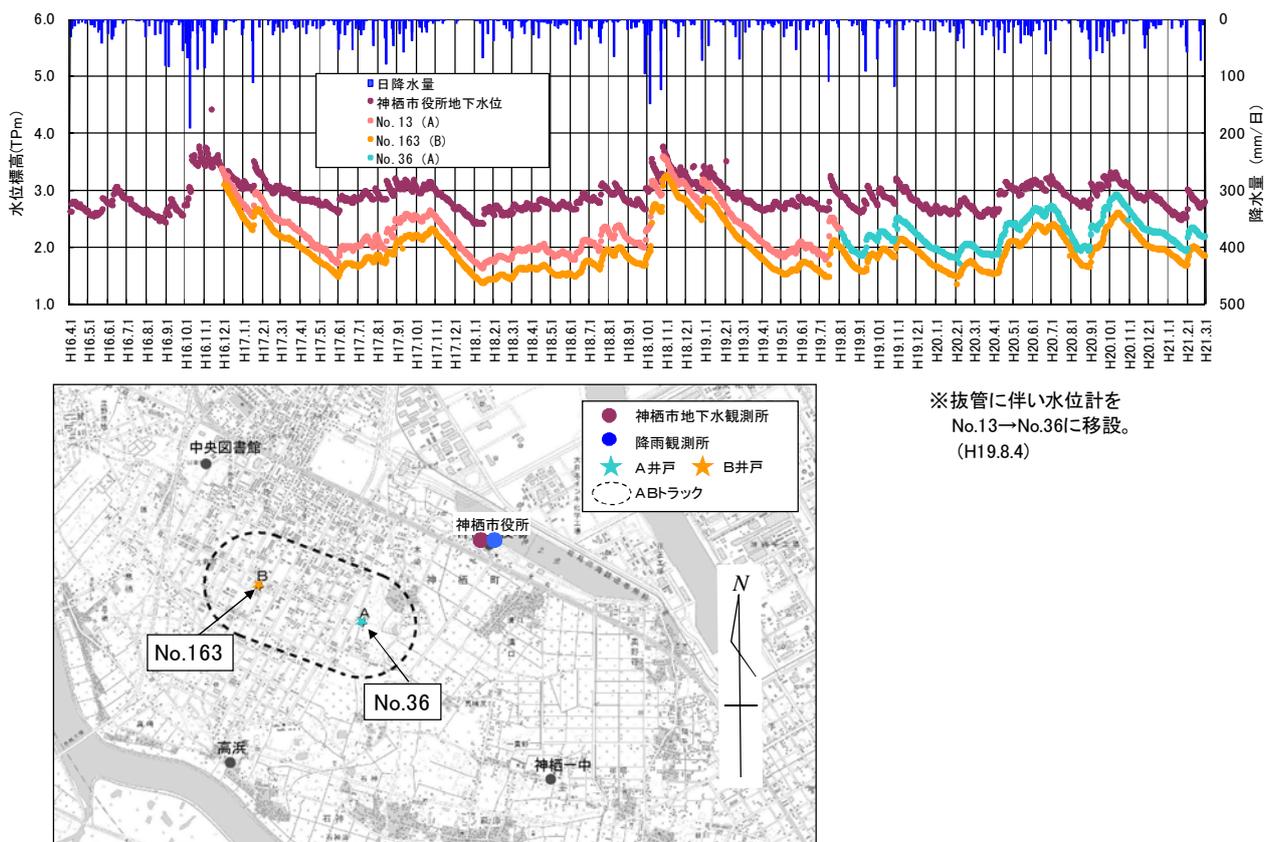
1. モニタリングの概要

神栖市における地下水モニタリングは、2004年夏季から現在まで年4回(四季)実施している。平成20年度は、観測井戸約140孔を対象に地下水の水位測定(毎月)ならびに地下水中のジフェニルアルシン酸の分析を実施した。

2. モニタリングの結果

1) 地下水位の測定結果

地下水位は、平成20年10月以降低下傾向にある。平成21年1月30日に45mm、31日で57mmの2日間で100mmを越す降雨があり、一時的に地下水が上昇したものの、平成21年2月23日時点で、A井戸付近で水位標高2.19m、B地区で水位標高1.88m程度となり、その差は0.31mとなっている。



図－1 神栖市の降水量と水位標高

次に、水位分布は、A井戸の北東側の水位が高いものの、AB間で見れば、これまで同様、A井戸からB地区に向かう流れが恒常的に見られる。

ABトラック北西地域では、モニタリング孔が3孔増えたものの、これらデータを踏まえても、B地区から南西および西地域の地下水流れは、これまで同様常陸利根川方向に向かうことが確認された。

